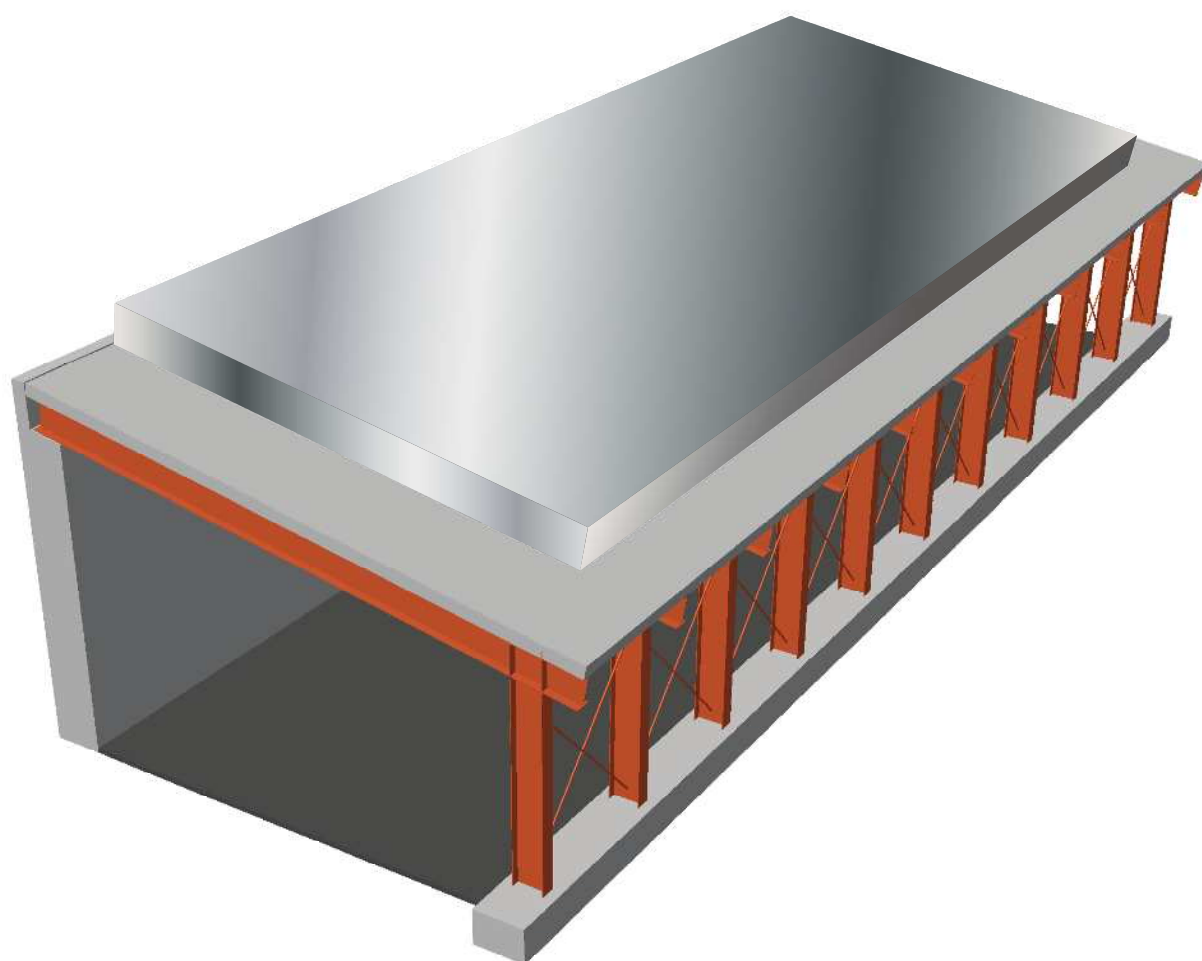
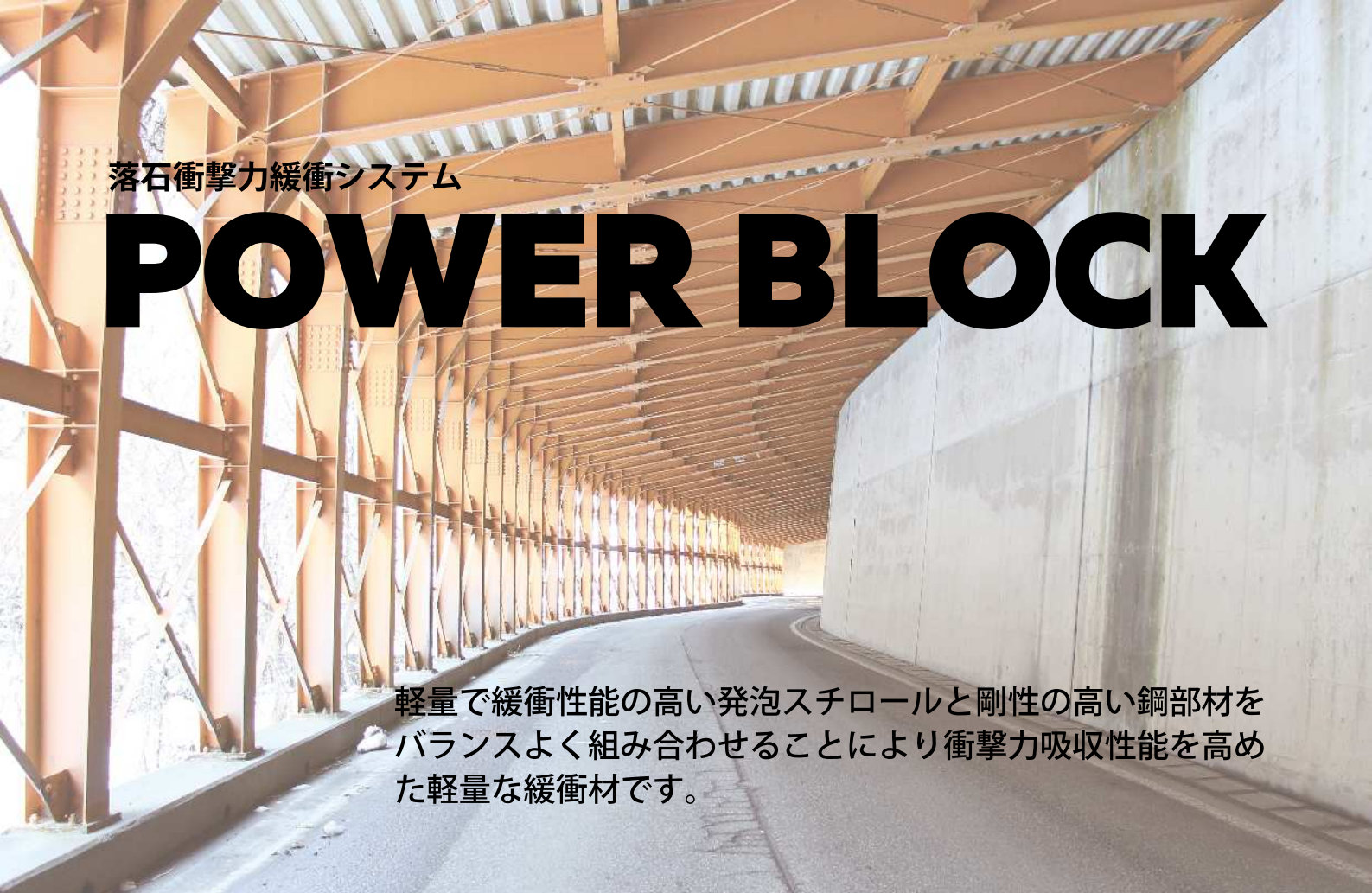


落石衝撃力緩衝システム

POWER BLOCK





落石衝撃力緩衝システム

POWER BLOCK

軽量で緩衝性能の高い発泡スチロールと剛性の高い鋼部材をバランスよく組み合わせることにより衝撃力吸収性能を高めた軽量な緩衝材です。

特徴

最大 250kJ の落石エネルギーに対応可能な軽量緩衝材
鋼製スノーシェットの落石対策に最適

総重量がサンドクッション 5cm 以下と非常に軽量

総重量は 80kg/m² 以下。サンドクッションなど従来の緩衝材に比べ軽量であるため、スノーシェット本体への負担はありません。

250kJ レベルの落石エネルギーに対応

緩衝性能の高い発泡スチロールと剛性の高い鋼部材をバランスよく組み合わせることにより最大 250kJ の落石エネルギーに対応します。

実規模構造物を用いた実験により性能を確認

実規模の鋼製スノーシェット頂版を用いて落錘衝撃載荷実験を行い、鋼製スノーシェットへの影響がないことを確認しました。

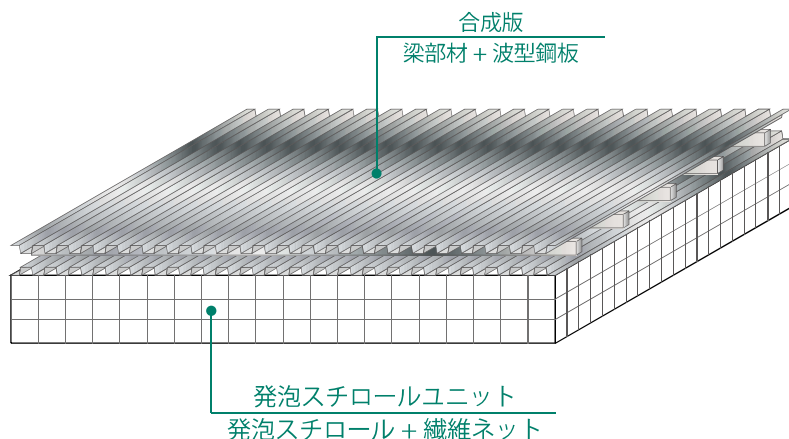
プレハブ部材により現場作業を省力化

大型建設機械が不要。軽量なプレハブ部材で構成され、現場での作業が容易です。

構造

軽量でバランスの良い部材構成

梁部材と波型鋼板で構成された合成版と、発泡スチロールを繊維ネットで囲んだ発泡スチロールユニットで構成された軽量の緩衝材です。



合 成 版

剛性の高い面を構成。落石衝撃力を分散させるとともに、変形により衝撃力を吸収します。

発泡スチロールユニット

移動を抑制させることで吸収性能が向上。分散された衝撃力を柔らかく吸収します。

POWER BLOCK
ラインアップ

TYPE-M
落石エネルギー 150kJ 相当

TYPE-L
落石エネルギー 250kJ 相当

実験

国立大学法人金沢大学 前川名誉教授監修

250kJ レベルの実規模実験による性能照査

実構造の鋼製スノーシェッド頂版上に **POWER BLOCK** を設置し、自由落下により重錘を衝突させる鉛直落下式実験により衝撃力緩衝性能・分散性能を確認しました。



実験状況

TYPE		衝突前	衝突時	衝突後
M-TYPE 150kJ	POWER BLOCK			
	頂版 下面			 変形なし
L-TYPE 250kJ	POWER BLOCK			
	頂版 下面			 変形なし

お問い合わせ

亜細亜防災協会 事務局

【日本事務局】
株式会社 ライテク 内

〒939-2701 富山県富山市婦中町西本郷 436 番 32
TEL(076) 495-7674 FAX(076) 495-7675

【台湾支局】
托爾斯工程股份有限公司 内

〒103 台北市南京西路 212 號 3 樓
TEL+886-2-2558-8216 FAX+886-2-2558-9813